

七北田宿 開宿400年記念 奥州街道 七北田宿・富谷宿・吉岡宿三宿サミット ～ 三宿の交流・連携を考える ～

第1部：三宿交流連携フォーラム〔プログラム等資料〕



日時 令和5年7月9日 [日] 13:30～17:00

会場 仙台市泉区中央市民センター ホール
(仙台市泉区東裏53-1 TEL 022-372-8101)

【重要留意事項：新型コロナウイルス感染防止対策について】
※まだまだ安心出来ない感染状況ですから、ご協力をお願い致します。
・当日、「マスクの着用」のない方また発熱のある方は、出席をキャンセル願います。
・会場は、密にならない様に設定し、換気を行います。

【主催】 みやぎ街道交流会

【共催】 七北田宿研究会、富谷市民俗ギャラリー、吉岡宿本陣案内所

【後援】 仙台市泉区、富谷市、大和町、とうほく街道会議、東北みち会議

みやぎ街道交流会 事務局

〒980-0802 仙台市青葉区二日町13-17

TEL:080-3322-1966 FAX:022-262-0379

E-mail:miyagi.kaidou@gmail.com

ホームページ: <みやぎ街道>で検索

伊達政宗公は慶長6年（1601）、仙台城普請を始めるとともに、旧来の幹線道を、仙台城下を經由するよう変更し、奥州街道を整備しました。

これに伴い仙台北部地域の宿場として、吉岡宿は元和2年（1616）頃、富谷宿は元和4年（1618）政宗公より宿場開設を命じられ元和6年（1620）、七北田宿は元和9年（1623）に開宿しています。

そして、今この三宿では、それぞれの“宿場を生かしたまちづくり”に取り組んでいます。今回、七北田宿の開宿400年を記念した「三宿サミット」を開催し、奥州街道以前の道と三宿の歴史を学ぶとともに、三宿の活動紹介と意見交換を行い、さらに進展させるため三宿の交流・連携について探ります。

プログラム

第1部：三宿交流連携フォーラム

◆ 開 会 [13:30]

主催者あいさつ	みやぎ街道交流会 会長	白鳥 良一
来賓あいさつ	仙台市泉区 区長	木村 賢治朗 様
	富谷市 市長	若生 裕俊 様
	大和町 副町長	浅野 喜高 様
来賓紹介	仙台市泉区まちづくり推進部 まちづくり推進課長	田中 輝 様
	富谷市企画部企画政策課長	小山 温 様
	大和町商工観光課長	浅野 義則 様

◆ 基調講演 [13:50～15:20]

『奥州街道整備以前の仙台北部の地域の幹線道』

講師：倉橋 真紀 氏（仙台市博物館学芸普及室）

[休憩（10分）]

◆ パネルディスカッション [15:30～16:50]

『七北田・富谷・吉岡三宿の交流連携』

パネラー：鑑 啓記 氏（特定非営利活動法人東北みち会議理事長）

パネリスト：森田 眞理 氏（七北田宿研究会代表）

清水 勇希 氏（富谷市民俗ギャラリー学芸員）

高橋 信行 氏（吉岡宿本陣案内所ガイドスタッフ）

◆ 基調講演 [13:50~15:20]

『奥州街道整備仙台北部の地域の幹線道』

—根白石・七以前の北田地域を中心に—

奥州街道整備以前の仙台北部地域の幹線道はどうであったのか。根白石(仙台市泉区)を經由する街道から七北田宿経由へのルート変更を中心に七北田・富谷・吉岡の三宿開宿について解説頂きます。

また、根白石に縁があり、今仙台市を初め各地で再現展示が行われている仙台藩の伝統的な門松も紹介して頂きます。

【講師】 倉橋 真紀 (くらはし まき)



宮城県生まれ。國學院大学文学部史学科卒業。平成10年より仙台市博物館市史編さん室勤務。古文書・近現代資料の調査や江戸時代に関わる内容の「仙台市史」編さんに携わる。平成26年度刊行『仙台市史特別編9 地域誌』では「根白石」執筆担当。仙台市史編さん終了後は同館学芸普及室に勤務。市史編さんに伴い収集された資料の調査・整理等を行っている。また、東日本大震災の翌年度から始まった仙台歴史ミュージアムネットワーク(歴ネット)で行っている仙台門松の再現展示を担当。ほかに、宮城県古文書を読む会講師、NHK文化センター仙台教室古文書解説講座の講師も務めている。

◆ パネルディスカッション [15:30~16:50]

『七北田・富谷・吉岡三宿の交流連携』

三宿の各団体の活動を学ぶとともに、各宿場間の交流や連携について、会場も交えて話し合いを行います。

【ファシリテーター(進行役)】 鏡 啓記 (あぶみ けいき)



秋田県生れ。高校時代より秋田市で演劇など地域文化活動を展開。秋田駅前「あぶみ書房」経営後、地元の無明舎出版入社、編集長。2000年同舎退舎後、地域文化活性化活動を目的に「あきた地域資源ネットワーク」を設立活動中。他にNPO法人東北みち会議理事長、羽州街道交流会代表幹事、とうほく街道会議運営委員など。著書:『北前船おっかけ旅日記』。東北の歴史や街道関係の多数図書の編集や街道交流連携団体の活動を通じて、東北の地域とともに団体・人々を知り尽くしている。

【パネリスト】

森田 眞理 (もりた しんり)

七北田宿研究会代表



兵庫県生まれ。(1970年仙台市に移住。)1985年泉市七北田字鳥居原の実相寺敷地隣り「アパートいずみ荘(軽便鉄道線路跡)」に居住。

富谷町郷土史研究会に所属後、2016年みやぎ生協市名坂店登録団体『郷土史サークルいずみのふるさと』を設立。『七北田お散歩手帖』1万部作成。団体名称を『七北田宿研究会』に改称。毎年11月23日(祝)に「七北田宿講演会」開催。

「七北田宿の開宿400年記念～七北田宿ガイドボランティア養成講座」「同、実践教室」「同、シニア・七北田宿まちなか健康ウォーキング」を「仙台市泉区まちづくり活動助成金事業」として3年連続開催。

清水 勇希 (しみず ゆうき)

富谷市民俗ギャラリー学芸員



山梨県南アルプス市(旧白根町)生まれ。山梨学院大学法学部卒業。福島大学大学院地域政策科学研究科考古学研究室修士課程修了。

宮城県山元町教育委員会を経て、2017年度より富谷市民俗ギャラリー学芸員。大学在学時より文化財保存全国協議会の会員及び全国委員として、全国の遺跡保護にも携わっている。また、富谷市内外での講演や広報とみや「富谷歴史散歩」連載を行っている。

高橋 信行 (たかはし しんぎょう)

吉岡宿本陣案内所ガイドスタッフ



北海道生まれ、東京で学生生活。新卒で外資系生保入社、丸の内本社勤務。結婚が縁で仙台好きとなり、逆単身赴任生活を選択。

2000年、まほろば探偵団探索会に参加を契機に、大和町まほろばまちづくり協議会入会、理事。同協議会で「まほろば百選」(全3刊)、「郷土再考の旅」の執筆・編集・発刊に携わる。地域再発見企画(「吉岡とは何か」等)や七ツ森の自然や修験道跡、古城跡等探索会を主催し、地元の歴史と文化を掘り下げる。

2016・5、「殿、利息でござる！」上映に際し、町の要請を受け、同協議会としてガイド部門の立上げと解説史料の制作に携わる。

第2部：七北田宿・富谷宿・吉岡宿の各宿探訪会

各宿の探訪会を案内者がついて実施します。各宿場の活動団体が主体となり運営するため、実施日がそれぞれ違います。これにより、複数の宿場の探訪会に参加可能です。

七北田宿探訪会

「奥州街道七北田宿探訪フィールドワーク」

A:「七北田、市名坂の「お散歩手帖」を活用したお散歩」コース ※既に募集枠を超えました。

実施日：令和5年7月19日(水) 募集人員 若干名 参加費無料

集合 9:50 泉区中央市民センター玄関前

(10:00) 泉区中央市民センター～すいせん通り「案内板」～本郷医院跡～佐藤屋敷～実相寺～
軽便鉄道跡～浄満寺～修林壇～みやぎ生協市名坂店 (12:00) ※徒歩約3km

B:「七北田、市名坂の「お散歩手帖」を活用したお散歩」コース ※既に募集枠を超えました。

実施日：令和5年9月20日(水) 募集人員 若干名 参加費無料

集合 10:00 山の寺洞雲寺駐車場前 (仙台市泉区山の寺2丁目)

(10:05) 山の寺洞雲寺千田住職による寺の歴史と堂内の説明 (12:00)

富谷宿探訪会

実施日：令和5年秋を予定

開催日時・内容等の詳細は、富谷市広報誌・ホームページ等で広報します。

なお、eメールで情報を希望の方は、裏面の申込書の「①」欄を記入ください。

吉岡宿探訪会

吉岡宿本陣案内所：黒川郡大和町吉岡上町31-1 TEL 080-8236-2008

A:「伊達宗清菩提寺と吉岡城跡を巡る」コース

実施日：令和5年7月16日(日) 募集人員15名(先着)

参加費/1,500円(昼食弁当代、資料代、保険料)

集合：10:00 吉岡宿本陣案内所(駐車場有)

(10:10) 吉岡本陣案内所～五間堀～天皇寺～吉岡城跡〔伝二の丸南側エリア～城内大堤公園～

伝一の丸・隅櫓跡～伝二の丸中央エリア〕～ (12:00・昼食：遠藤旅館予定)～吉岡本陣案内所(13:30)
※徒歩約3km

B:「“殿、利息でござる！”ゆかりの地を巡る」コース

実施日：令和5年7月23日(日) 募集人員25名(先着) 参加費/500円(資料代、保険料)

集合：9:30 吉岡宿本陣案内所(駐車場有)

(9:40) 吉岡本陣案内所説明～穀田屋～菅原屋跡～浅野屋跡～龍泉院～九品寺～吉岡本陣案内所(11:30)
※徒歩約1.5km

※資料として、Aコースは『吉岡城跡で見よ、荒城の月』(14頁)、Bコースは『国恩記年表【リアル版】』(8頁)を参加者に配布します。



泉区山の寺：洞雲寺

釈定慧(643-714年)が蓮葉山円通寺として開山。後に、明峯素哲が暦応元年(1338)に創建。戦国時代に兵火により焼失。藩主吉村により再建。1943年仙台軽便鉄道による山火事で、一切焼失。後にコンクリート製で再建。2011年東日本大震災で崩壊して、2017年に再建した。



富谷新町：熊野神社

勧請不詳。伝説によると宿場以前はもっと東にあったとされるが、藩主政宗の命による宿場開設の折、現在地に勧請したと伝えられている。新町の町人が旅に出る時は、道中の安全を祈願したといわれ、藩の庇護厚く、領内4大奉納相撲のうちの1ヶ所でもあったとのことである。



大和町吉岡：天皇寺

現福島市飯坂城主の飯坂氏の菩提寺で、同氏に従い移転を重ね、元和2年(1616)に下草から現在地に至った。飯坂氏は政宗の三男・宗清が継ぎ、伊達の名字が許された。境内には、宗清と、政宗の側室で宗清の養母となった飯坂の局の墓がある。



奥州街道 有壁本陣